

情報公開用文書

(町田市民病院用)

西暦 2021年 9月 1日作成 第1.0版

研究課題名	消化管粘膜下腫瘍におけるEUS-FNAの診断能および病理診断可能率に寄与する因子に関する検討
研究の対象	2010年1月1日から2019年3月31日までに横浜市立大学附属病院及び町田市民病院（共同研究機関）で消化管粘膜下腫瘍（SMT）に対して超音波内視鏡を用いて腫瘍部の穿刺吸引（超音波内視鏡下穿刺吸引法：EUS-FNA）を施行した患者さん。
研究目的 ・方法	消化管粘膜下腫瘍に対して超音波内視鏡を用いて腫瘍部の穿刺吸引を行い（EUS-FNA）組織を採取し診断する方法が行われていますが、その診断の確率にはばらつきがあり一定した報告がありません。今回EUS-FNAを用いた診断能の検討および、診断に寄与する因子（年齢・性別・病変部位・腫瘍径・用いた内視鏡の種類・穿刺径・穿刺種類等）を検討し、今後の診断向上への手がかりを探します。診療録から過去の情報を収集して行いますので、対象の方の負担になることはありません。
研究期間	承認日 ～ 西暦 2025年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報の 種類	1) 患者基本情報：年齢、性別、診断名、手術施行の有無 2) 病変情報：病変部位、腫瘍径、検体組織の病理標本像 3) 病理学的所見：免疫組織学的所見、組織型 4) 使用機器：内視鏡種類、穿刺針径、穿刺針の種類
外部への 試料・情報の 提供	なし
外部からの 試料・情報の 取得と保管	共同研究機関で個人を特定できる情報を削除して匿名化し、電子データにパスワードをかけて提供を受けます。提供を受けたデータは、当院のデータと統合し、横浜市立大学附属病院 肝胆膵消化器病学のインターネットに接続できないパソコンで、パスワードをかけて管理します。少なくとも本研究の終了日から5年後又は本研究の結果の最終の公表について報告した日から3年とのいずれか遅い日までの期間保管し、その後復元できない方法で廃棄します。
研究組織	研究代表機関：横浜市立大学医学部 肝胆膵消化器病学（研究責任者）栗田裕介 共同研究機関：町田市民病院 消化器内科（研究責任者）谷田恵美子

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話でお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒194-0023 町田市旭町2-15-41

町田市民病院 消化器内科（研究責任者）谷田恵美子

電話番号：042-722-2230（代表）